

〔宜禁本草五〕山藥 甘温平、一名山芋、二月八月採根、暴乾、且愈疾而補、主傷中泄精補虛羸、益氣力、

長肌肉、下氣、止腰痛、充五臟、除煩熱、強陰、食療云、利丈夫、助陰力、益顏色、心鏡云、主下焦虛冷、小便數、瘦損無力、長志安神、主健忘、衍義云、竹刀刮去皮、於簷下風徑處、盛竹篩、不得見日色、全乾收之、生濕則滑、不可入藥、

熟則堪嚼、亦滯氣、

〔農業全書五〕山野菜 薯蕷

藥種にする法は、寒中に皮をさり、長さ三寸ばかりに切折、かき灰又は米粉をぬり、竹かごに入、風にあて陰干にし、或は糸にてあみ、寒中さらしをき、能干たる時籠に入藏め置べし、都又は城下などの大邑に、遠き所の山中にて、山藥は多けれども、運送の費かゝり、其利なき所柄にては、乾山藥に調へ藥屋に賣べし、取分藥種には山中の自然生を用ゆるなり、

〔延喜式三十三〕仁王經齋會供養料

僧一口別菜菜料略 薯蕷三根半根長一尺、徑一寸、菜餅料二根、好物料一根、生菜料半根、

〔延喜式三十七〕諸國進年料雜藥

大和國卅八種略 中 署預七斗、攝津國卅四種略 中 署預六升、

〔今昔物語二十六〕利仁將軍若時從京敦賀將行五位語第十七

今昔、利仁ノ將軍ト云人有ケリ、若カリケル時ニ□ト申ケル、其時ノ一ノ人ノ御許ニ格勤ニナン候ケル、越前國ニ□ノ有仁ト云ケル勢徳ノ者ノ聲ニテナム有ケレバ、常ニ彼國ニゾ住ケル、而ル間、其主殿ニ正月ニ大饗被行ケルニ、當初ハ大饗畢ヌレバ、取食ト云者ヲバ追テ不入シテ、大饗ノ下ヲバ其殿ノ侍共ナン食ケル、ソレハ其殿ニ年來ニ成テ所得タル五位侍有ケリ、其大饗ノ下侍共ノ食ケル中ニ、此五位其座ニテ暑預粥ヲ飲テ舌打ヲシテ、哀レ何カテ暑預粥ニ飽カント云ケレバ、利仁此ヲ聞テ、大夫殿未ダ暑預粥ニ飽セ不給カト云ヘバ、五位未ダ不飽侍ト答フ、利仁イ